# 絶縁信号変換器
# 取扱説明書付録

文書番号:MQDDK-060929

Rev. 1.0

このたびは、弊社絶縁信号変換器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品を正しく、安全にご使用いただくために、使用前には必ずご購入製品の取扱説明書と、この取扱説明書付録ををお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してしていただきますようお願いいたします。

## 使用上の注意事項

製品のご使用にあたっては、下記の注意事項について十分注意してください。



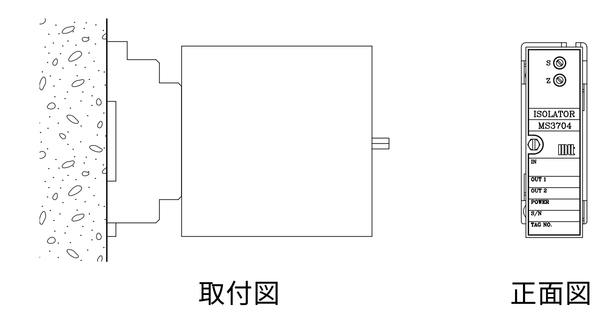
### 配線について

(a)配線用導線には、可とう性に優れているより線を使用し、末端は、接触性がよく経年変化がすくない圧着端子(JISC2805)をご使用ください。
※導体公称断面積：推奨0.5～2.0mm²
※圧着端子厚　　：推奨0.7～1.0mm
※1つの端子ねじに対して接続可能圧着端子数は2つまでとし、圧着端子厚は0.8mm以下をご使用ください。
(b)ノイズ等の影響を減らすため入出力配線を電源配線と同一結束・同一ダクト内で使用することは避け、できるだけ離して配線(目安として200mm以上)してください。
(c)モータ、大型トランスなどの電磁界を発生する機器の近傍に信号線を配線しないでください。止むを得ない場合は、シールド線を使用する等のノイズ対策を行ってください。



### 設置環境について

(a)アースは単独接地、もしくは電流が流れ込まない接地を使用してください。
※機種によって接地端子のないものがございます。
(b)変換器のDC24V電源のマイナス端子を接地しないでください。
(c)変換器に通風孔がある場合、配線などで塞がないでください。
(d)変換器を多段積みで使用する場合は、仕切り板を入れる等の熱対策を行ってください。
(e)潮風や、直射日光のあたる場所、塵埃の多い場所での使用は避けてください。
(f)硫化水素ガスや亜硫酸ガスの発生する可能性がある環境下での使用は避けてください。
(g)変換器の取り付け姿勢は、下図(代表例としてMS3700を図示)のようにし、変換器前面の製品表示が正常に見えるようにしてください。

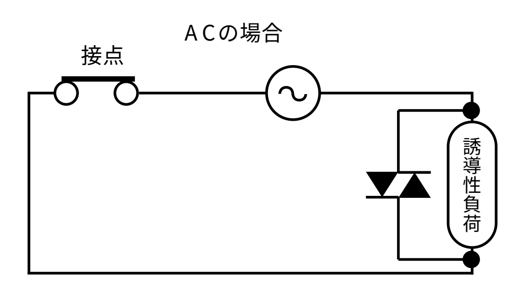



取付図　　正面図

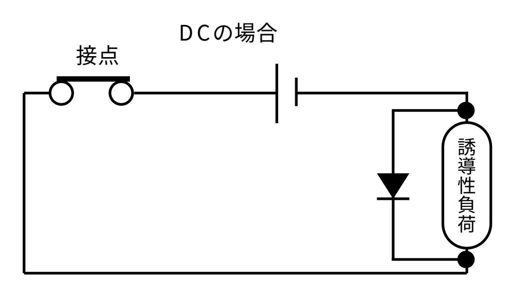


### 接点保護について

警報設定器等の接点出力に誘導性負荷を接続する場合、接点保護回路を接続してください。




バリスタ、CR回路等の保護回路




ダイオード、バリスタ、CR回路等の保護回路

mtt エムティティ株式会社

東京営業所:〒160-0008 東京都新宿区三栄町11－4 Tel:03(5379)8641㈹ Fax:03(5379)8648
つくば営業所:〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-16-10(三井生命筑波学園ﾋﾞﾙ) Tel:029(852)8521㈹ Fax:029(852)8523
名古屋営業所:〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-23-13(大同生命ﾋﾞﾙ) Tel:052(561)1595㈹ Fax:052(561)3375
大阪支店:〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14(新大阪ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾞﾙ9階) Tel:06(4807)4501㈹ Fax:06(4807)4550